



株式会社荏原製作所

2022 年 12 月期決算説明会及び新中期経営計画説明会

2023 年 2 月 14 日

イベント概要

[企業名]	株式会社荏原製作所
[企業 ID]	6361
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2022 年 12 月期決算説明会及び新中期経営計画説明会
[決算期]	2022 年度 通期
[日程]	2023 年 2 月 14 日
[ページ数]	25
[時間]	17:00 – 19:13 (合計：133 分、登壇：72 分、質疑応答：61 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	9 名 取締役 代表執行役社長 兼 CEO 兼 COO 浅見 正男 (以下、浅見) 執行役 建築・産業カンパニープレジデント 永田 修 (以下、永田) 執行役 環境カンパニープレジデント 兼 荏原環境プラント株式会社

代表取締役社長 兼 水ing株式会社 取締役 山田 秀喜（以下、山田）
執行役 インフラカンパニープレジデント 太田 晃志（以下、太田）
執行役 エネルギーカンパニープレジデント 兼 Elliott Company CEO 兼
嘉利特荏原泵業有限公司 董事長 兼 エリオットグループホールディングス
株式会社 Chairman 兼 CEO 宮木 貴延（以下、宮木）
執行役 環境カンパニー 兼 荏原環境プラント株式会社 代表取締役会長
大井 敦夫（以下、大井）
執行役 精密・電子事業カンパニープレジデント
戸川 哲二（以下、戸川）
執行役 経営企画・経理財務統括部長 兼 CFO
細田 修吾（以下、細田）
経営企画部長 大崎 晃裕（以下、大崎）



2022年12月期 決算説明会資料 荏原 (6361)

2023年2月14日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead > Beyond

株式会社 荏原製作所

大崎：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所の2022年12月期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より会を始めさせていただきます。

本日の15時に、決算関連の書類を東証のプラットフォームならびに当社ホームページに開示しております。そちらもご覧いただきながらご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

私どもの出席者をご紹介します。

代表執行役社長、浅見正男でございます。

浅見：浅見です。よろしくお願いいたします。

大崎：旧風水力機械カンパニープレジデント、今期より建築・産業カンパニープレジデント、永田修でございます。

永田：永田です。よろしくお願いいたします。

大崎：今期よりエネルギーカンパニープレジデントに就任しました、宮木貴延でございます。

宮木：宮木です。よろしくお願いいたします。

大崎：今期よりインフラカンパニープレジデントに就任しました、太田晃志でございます。

太田：太田です。よろしくお願いいたします。

大崎：旧環境事業カンパニープレジデント、大井敦夫でございます。

大井：大井です。よろしくお願いいたします。

大崎：今期より環境カンパニープレジデントに就任しました、山田秀喜でございます。

山田：山田です。よろしくお願いいたします。

大崎：精密・電子カンパニープレジデント、戸川哲二でございます。

戸川：戸川です。よろしくお願いいたします。

大崎：経営企画・経理財務統括部長、IR 担当執行役、細田修吾でございます。

細田：細田でございます。よろしくお願いいたします。

大崎：司会は、経営企画部の大崎が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日のスケジュールでございますが、決算概要を IR 担当執行役の細田より、今期の見通しと新中期経営計画の概要を社長の浅見より説明させていただきます。なお、新中期経営計画の事業別戦略につきましては、各カンパニープレジデントより説明させていただきます。その後に皆様からのご質問をお受けいたします。終了時刻は 19 時を予定しております。

また、本日の会議の内容は、Zoom のオンデマンドにて聞くことができます。詳細は、会議終了後にメールにてご連絡いたします。

それでは、細田より、説明に入らせていただきます。

当決算におけるポイント	P3	4.株主還元	
1. FY22 連結決算サマリ		・株主還元の見通し	P19
・連結業績	P5	5. 補足資料	
・セグメント別	P6	・受注高	P21
・営業利益増減分析	P7	・売上収益	P22
・事業環境の変化への対応	P8	・営業利益	P23
・地域別売上収益	P9	・受注残高	P24
2. FY22 セグメント別業績		・地域別売上収益	P25
・風水力	P11	・貸借対照表	P26
・環境プラント	P12	・キャッシュ・フロー	P27
・精密・電子	P13	・資本的支出、減価償却費、研究開発費	P28
3. FY23 業績予想		・事業セグメントの変更	P29
・連結業績	P15		
・セグメント別	P16		
・営業利益増減分析	P17		

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY22」は2022年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している

2 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

決算におけるポイント

FY22 業績

		前期比*	直近計画比*
受注高	8,152 億円	+437 億円 +5.7% ↗	+317 億円 +4.0% →
売上収益	6,808 億円	+776 億円 +12.9% ↗	+108 億円 +1.6% →
営業利益	705 億円	+91 億円 +15.0% ↗	+30 億円 +4.6% →
営業利益率	10.4%	+0.2pts	+0.3pts

* ↗は+5%以上、↘は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

FY23 業績予想

		前期比*
受注高	7,880 億円	-272 億円 -3.3% →
売上収益	7,530 億円	+721 億円 +10.6% ↗
営業利益	710 億円	+4 億円 +0.6% →
営業利益率	9.4%	-1.0pts

トピックス

FY22 業績

- 通期の全社業績は受注高、売上収益、営業利益でそれぞれ過去最高を更新

FY23 業績予想

- 新中期経営計画で掲げる新たな施策の実施や組織体制見直しのほか、持続的な成長に向けた戦略投資などもあり営業利益率はやや下がるものの、増収増益を見込む
- 精密・電子事業では、メモリ価格の下落による顧客の設備投資に減速感はみられるものの、FY22期末受注残の積み上がりにより増収増益を見込む

その他

- FY22の1株当たりの年間配当金を193円（前回170円予想）へ増配し、FY23も195円と連続増配を予定
- 新中期経営計画「E-Plan2025」を策定、FY23より新セグメントでの開示

3 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

細田：IR 担当執行役の細田でございます。

まず、決算におけるポイントから説明させていただきます。

まず通期の連結業績ですが、受注、売上、営業利益、営業利益率まで含めまして、ともに前年比と比べてプラスとなっております。かつ、いずれもヒストリカルという意味で、過去最高の数値を更新しております。

中国でのゼロコロナ政策等による市場の冷え込みや原材料価格高騰など、さまざまなマイナス要因の影響を受けた一方で、好調だった風水力事業と精密・電子事業がけん引し、また為替の影響、円安も寄与し、それらのマイナス影響を補った結果、このような決算に着地している状況でございます。

2023年度の通期業績予想に関しましては、今期から導入された新セグメント組織を通じまして、それぞれの対面市場別に戦略的な基盤投資や組織改革、および成長投資などを鋭意行っていく計画としております。前年度比では、営業利益率では今期2023年度のほうが少し下がりますが、絶対値という意味では増収増益となる計画と考えております。

半導体設備市場の動向については、当社も精密・電子事業を中心に影響を受け、その結果として、前期に比べて今期の精密・電子事業の受注の減少が見込まれますが、一方で、前年度から積み上がっている受注残を着実に消化して売り上げていくことによって増収増益を見込んでいるところでございます。

株主の皆様への還元という観点では、2022年度の1株当たり年間配当金を前回予想の170円から193円に上方修正する予定でございます。2023年度、今期に関しましては、1株当たり年間配当金予想を195円として、前年度よりも増配を予定してございます。

また、決算と同時に、新しい中期経営計画「E-Plan2025」を発表しました。その内容につきましても後ほど説明させていただきます。



- 1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ**
2. FY22 1-4Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 株主還元
5. 補足資料

それでは、決算の詳細説明に入らせていただきます。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ

連結業績



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY21 1-4Q a	FY22 1-4Q b	増減 b-a	増減率	FY22 計画 22/11/14 c	増減 b-c	増減率
受注高	7,714	8,152	+437	+5.7%	7,835	+317	+4.0%
売上収益	6,032	6,808	+776	+12.9%	6,700	+108	+1.6%
営業利益	613	705	+91	+15.0%	675	+30	+4.6%
営業利益率	10.2%	10.4%	+0.2pts		10.1%	+0.3pts	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	436	504	+68	+15.8%	465	+39	+8.6%
ROIC*	10.7%	11.2%	+0.5pts		10.1%	+1.1pts	
ROE	14.5%	15.0%	+0.5pts				
為替レート							
対米ドル (円)	109.86	131.37	+21.51		125.00	+6.37	
対ユーロ (円)	129.91	137.97	+8.06		135.00	+2.97	
対人民元 (円)	17.04	19.50	+2.46		19.00	+0.50	

*ROIC: 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ {有利子負債(期首期末平均) + 親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均)}

5 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5 ページをご覧ください。通期の連結業績でございます。

ご覧のとおり、受注は前年度から 437 億円増加して 8,152 億円、売上は前年度から 776 億円増加して 6,808 億円、営業利益は 91 億円増加して 705 億円、営業利益率に関しましては 10.4%で着地しております。親会社の所有者に帰属する当期利益は、前年度から 68 億円増加して、504 億円という着地となりました。

スライド右側の C 列に記載する、直近に発表した対外公表計画値との比較では、いずれの項目に関しましても計画値を上回る業績となっております。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
セグメント別



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)		FY21 1-4Q	FY22 1-4Q	増減	増減率	FY22 計画 22/11/14	増減	増減率
		a	b	b-a		c	b-c	
連結合計	受注高	7,714	8,152	+437	+5.7%	7,835	+317	+4.0%
	売上収益	6,032	6,808	+776	+12.9%	6,700	+108	+1.6%
	営業利益	613	705	+91	+15.0%	675	+30	+4.6%
	営業利益率	10.2%	10.4%	+0.2pts		10.1%	+0.3pts	
風水力	受注高	3,548	4,064	+516	+14.6%	3,820	+244	+6.4%
	売上収益	3,369	3,833	+464	+13.8%	3,710	+123	+3.3%
	営業利益	247	320	+72	+29.2%	300	+20	+6.8%
	営業利益率	7.4%	8.4%	+1.0pts		8.1%	+0.3pts	
環境プラント	受注高	1,294	1,058	-236	-18.3%	900	+158	+17.6%
	売上収益	718	737	+19	+2.7%	715	+22	+3.1%
	営業利益	56	36	-19	-34.9%	35	+1	+4.8%
	営業利益率	7.8%	5.0%	-2.8pts		4.9%	+0.1pts	
精密・電子	受注高	2,854	3,015	+161	+5.7%	3,100	-84	-2.7%
	売上収益	1,927	2,222	+294	+15.3%	2,260	-37	-1.7%
	営業利益	280	361	+81	+29.1%	350	+11	+3.4%
	営業利益率	14.5%	16.3%	+1.8pts		15.5%	+0.8pts	
その他、調整	受注高	17	13	-4	-22.9%	15	-1	-8.7%
	売上収益	16	14	-1	-8.6%	15	-0	-1.4%
	営業利益	29	-13	-42	-	-10	-3	-
	営業利益率	180.1%	-89.2%	-269.3pts		-66.7%	-22.5pts	

6 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

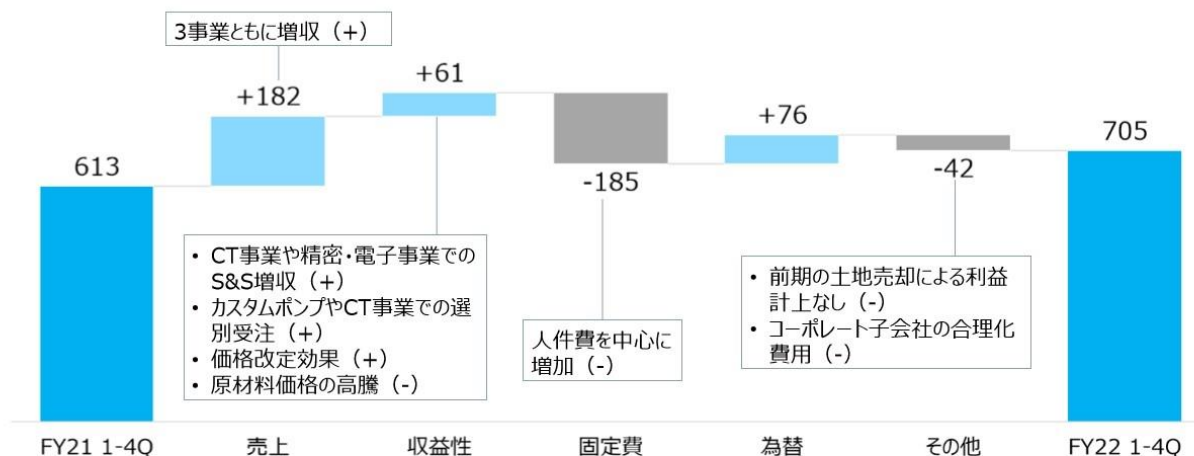
次のページ、6 ページ目をご覧ください。セグメント別決算サマリでございます。

まず風水力事業ですが、受注、売上、営業利益は、いずれも前年の実績および直近の乖離した計画を上回る結果となっております。中国とアジアを除いた海外、主に欧州や米州、それから中東などですが、それらの地域で需要が堅調に伸びたことや、当社製品の価格改定の効果およびサービス&サポートの売上増などが起因して、それらによって業績が伸びております。

環境プラント事業につきましては、前期の受注水準が高かったこともあって、前年度比で受注が減少となっておりますが、2022 年度もゴミ処理施設の大型案件を複数件受注したこともありまして、受注額の絶対額としては例年並みの受注水準で着地しています。直近の計画値に対しましては、EPC や長期包括案件などの追加受注により若干の上振れになっているところでございます。環境プラント事業の売上に関しましては、前年実績を上回っておりますが、一過性の費用計上などによって、営業利益は前期を下回る着地となっております。

精密・電子事業につきましては、旺盛な半導体需要に対応してきたことで、受注、売上、営業利益、いずれも前年を上回る結果で着地しております。

固定費増以上の増収及び収益性改善に加え、円安も寄与し増益



7 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

次のページ、7ページ目をご覧ください。こちらにお示ししましたのは、連結営業利益に関する、2021年から2022年度に対する連結営業利益の増減分析になっております。

営業利益は2021年と比較して2022年は91億円増加していますが、その中の売上に関する要因としましては、3事業セグメントとともに増収となっておりますので、その効果として182億円プラスに寄与しております。

収益性につきましては、風水力事業と精密・電子事業等の収益性改善によって61億円のプラス。一方、固定費が増加しておりますので、固定費要因として人件費増加をマイナス要因に185億円のマイナスとなっております。

あとは米ドルを中心に円安の影響を受けまして、結果的に76億円プラスに寄与している状況でございます。

その他の要因としては42億円分のマイナス要因がありまして、最終的に当期営業利益として705億円の着地となっております。

- 事業環境の変化による様々なリスクに適切に対応し、業績への影響を最小化
- 通期営業利益への影響額は見通しに対して価格改定などの対策が奏功し改善

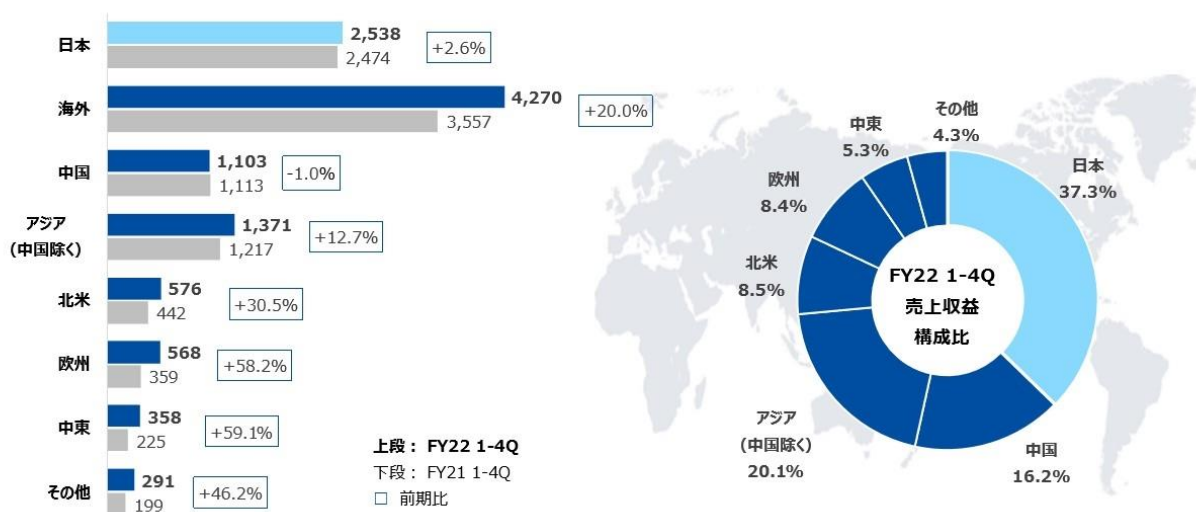
リスク	対象事業	対策	FY22営業利益影響額 (前期実績比)	
			1-4Q見通し 22/11/14	1-4Q実績
原材料価格の高騰	全事業	(販売) ■ 価格改定 ■ 見積への反映	-50億円～ -60億円	-26億円
部材の調達難	ポンプ、CT、 精密・電子	(調達) ■ 一括購買 ■ グローバル調達強化 ■ 調達部門人員増強 ■ 設計変更		
中国でのロックダウン	ポンプ、冷熱、 精密・電子	■ 増産によるリカバリー		-15億円
為替	全事業	■ 想定レート USD125円、EUR135円、CNY19円 ■ 期中平均レート（実績） USD131.37円、EUR137.97円、CNY19.5円	+60億円	+76億円

8 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

8 ページ目でございます。こちらは 2022 年度の事業環境の変化に対して、昨年 11 月の発表時の業績予想の中で織り込んでいたリスクを営業利益の影響額として示しましたスライドです。

原材料価格の高騰や部材調達難の影響は現在も継続している状況ですが、当社製品売価の改定効果や調達面の努力によって、ネガティブな影響が想定より抑えられている一方で、為替については想定レート以上に円安に振れたことで、営業利益に対してプラスの影響が発生しておりまして、直近の見通しを上回る計画となっております。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
地域別売上収益



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

9 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

9 ページ目をご覧ください。地域別売上収益の構成です。22 年と 21 年の対比を棒グラフに示しております。

一番上の日本国内は、ほぼ横ばいの水準です。

海外は、中国を除く各地域で伸びております。

中国地域は、ゼロコロナからウィズコロナ政策への方向転換の中で市場は依然として低調な状況でございますので、当社の業況には事業ごとに濃淡が見られた状況でございました。

中国以外のアジアの地域は、精密・電子事業を中心に売上が伸びております。

その他、北米、欧州、中東、中南米などの海外地域は、風水力事業を中心に伸びているところでございます。

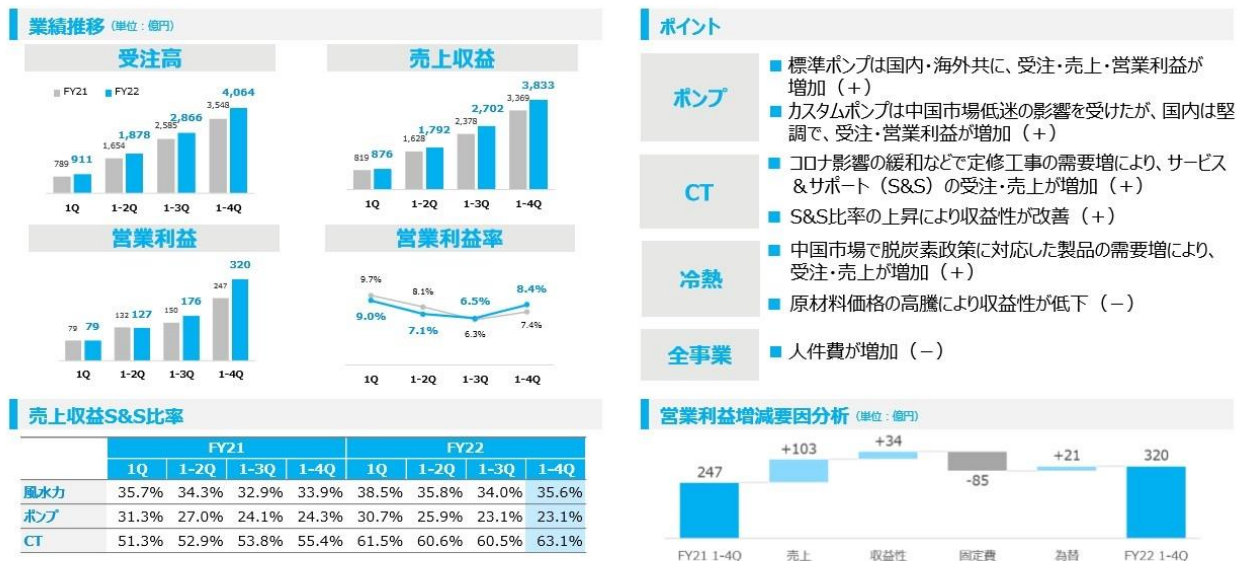
セグメントごとの地域別売上収益は 25 ページにも掲載しておりますので、そちらも併せてご参照ください。

- 1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
- 2. FY22 1-4Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想
- 4. 株主還元
- 5. 補足資料

続きまして、セグメント別の業績の説明に入らせていただきます。

2. FY22 1-4Q セグメント別業績

風水力



11 ページ目、まず風水力事業からでございます。

受注は前年から 516 億円増加して 4,064 億円、売上は前年から 464 億円増加して 3,833 億円、営業利益は前年から 72 億円増加して 320 億円となっております。

風水力事業のサブセグメント別に見ると、ポンプ事業は前年比で増収増益という結果です。ポンプ事業のうち標準ポンプの分野におきましては比較的好調で、海外、国内ともに、価格改定の効果や円安のプラス効果もありまして、受注、売上、営業利益ともに前年を上回っている状況でございます。

トップラインの成長の観点に関しましては、海外を中心としたオーガニックの成長に加え、2021年、2022年とM&Aで連結グループに組み入れました会社の貢献によるインオーガニックな成長分も寄与しているところでございます。

一方で、カスタムポンプ事業は、どちらかという中国にポーションが大きいものですから、低調な中国市場の影響を受けて、特にオイル&ガス市場向けの売上が伸び悩むような結果になっております。

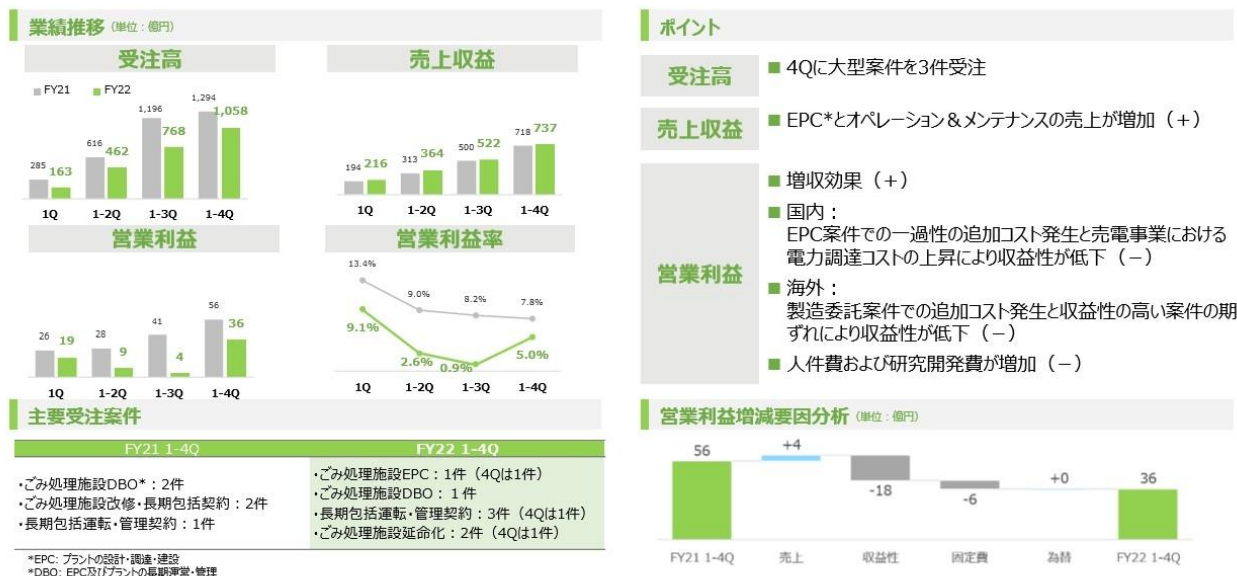
以上がポンプ事業です。

次にコンプレッサ・タービン事業は、新規製品市場ではインフレやウクライナ情勢の長期化などで先行き不透明感があつた状況の中で、お客様による投資判断が非常に慎重な姿勢が継続して見られていた1年間ございました。

一方、サービス&サポートという観点では、お客様の定修工事などの需要が増加しまして、リードタイムが比較的短く、比較的採算性の高い売上も多かったことから、コンプレッサ・タービン事業全体としては前年比増収増益となっております。

冷熱事業は、中国市場の需要が比較的堅調で増収となっております。ただ、利益はほぼ横ばいという結果で着地しております。人件費の増加やビジネスボリュームの拡大に起因する事業活動費の増加などによりまして、風水力事業全般での固定費の増加がその他見られております。

サブセグメント別損益の詳細につきましては、この他21ページ以降の補足資料にも掲載しておりますので、そちらも併せてご確認ください。



続きまして、12 ページ目の環境プラント事業でございます。

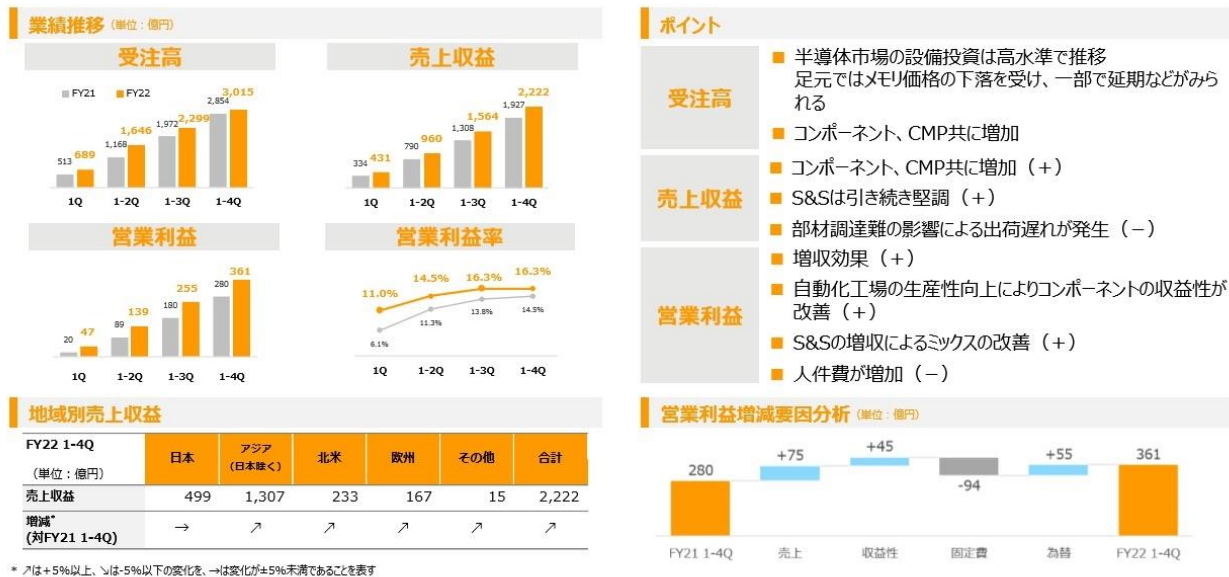
受注は、前期から 236 億円減少しまして 1,058 億円で着地しております。売上は前期より 19 億円増加して 737 億円、営業利益は前期より 19 億円減少して 36 億円という着地で、増収減益となっております。

受注案件は、スライド左下の主要受注案件のところに記載のとおりでございますが、10 月から 12 月の第 4 クォーターにも 3 件、通期では 7 件の受注をしております。その結果、前年との比較では受注案件数としては増えているのですが、1 件当たりの案件規模の違いもあって、受注高としては減少となっているという 1 年間でございました。

売上に関しましては、EPC 工事案件の工事進捗が進みまして、前年比増収となっております。

営業利益の減少要因ですが、収益性の低下につきましては、まず国内におきまして、EPC 案件で一過性の追加コストが発生したこと、およびごみ処理施設での発電をベースに行っている売電事業におきまして、その市場調達コストが増加したことによるものでございます。

一方、海外におきましては、中国子会社での機器の製造委託案件での追加コスト、海外案件の売上期ずれによるもので収益性の低下が発生しております。追加コストが発生した国内 EPC 案件は既に問題を解決した上で完工済みでありますし、また売電事業における調達コストを売値へ転嫁する契約改定などを進めまして、これらの追加コストが一過性、次年度以降に再発しないような防止策の徹底を図っているところでございます。



次の13ページ目をご覧ください。精密・電子事業です。

受注は、前期から161億円増加しまして3,015億円で着地しております。売上は294億円増加の2,222億円、営業利益は前年比81億円増加の361億円で着地しております。これら受注、売上、営業利益ともに、本事業セグメント、精密・電子事業セグメントとして過去最高の数値を更新しております。

足元ではメモリ価格低下の影響などによりまして、一部のお客様で設備投資計画を見直す動きや、お客様の工場稼働を調整する動きなどが見られておりますが、年間を通じて見ますと、お客様の設備投資は高水準で推移した1年間と言えたと思います。

依然として、部材不足に起因する当社製品の出荷遅れの影響などはまだありますが、コンポーネント、CMPともに受注、売上は堅調で、前年を上回っている状況でございました。

営業利益につきましては売上増の貢献が大きいところでございますが、一方で、収益性という観点でも、ドライ真空ポンプの自動化工場による生産性向上や、サービス&サポート増などが収益性改善にも寄与しております。固定費の増加は、事業拡大に伴う人件費の増加が主な要因となっております。

通期業績に関する説明は以上になります。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
2. FY22 1-4Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想**
4. 株主還元
5. 補足資料

浅見：それでは、浅見から、2023年の業績予想につきましてご説明させていただきます。

3. FY23 業績予想 連結業績

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q				1-4Q			
	FY22 実績 a	FY23 計画 23/02/14 b	増減 b-a	増減率	FY22 実績 c	FY23 計画 23/02/14 d	増減 d-c	増減率
受注高	3,994	4,055	+60	+1.5%	8,152	7,880	-272	-3.3%
売上収益	3,124	3,835	+710	+22.8%	6,808	7,530	+721	+10.6%
営業利益	271	372	+100	+36.8%	705	710	+4	+0.6%
営業利益率	8.7%	9.7%	+1.0pts	-	10.4%	9.4%	-1.0pts	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	180	254	+73	+40.6%	504	523	+18	+3.6%
ROIC*					11.2%	10.4%	-0.8pts	
ROE					15.0%	13.9%	-1.1pts	
1株当たり年間配当金					193	195	+2	
為替レート								
対米ドル (円)	122.89	130.00	+7.11		131.37	130.00	-1.37	
対ユーロ (円)	134.22	137.00	+2.78		137.97	137.00	-0.97	
対人民元 (円)	18.97	19.50	+0.53		19.50	19.50	-	

*ROIC: (FY22まで) 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ {有利子負債(期首期末平均) + 親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均)}
(FY23以降) NOPLAT(みなし税引後営業利益) ÷ {有利子負債(期首期末平均) + 親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均)}

15 ページをご覧ください。

23年の事業環境の認識でございますが、中国経済の回復遅れやウクライナ情勢の長期化など、依然として不透明感があり、当社の対面市場においても、それらの影響については引き続き注視しております。

また、昨年活発だった半導体の設備投資動向におきましても減速感が強まっておりますので、当社事業への影響も出てくるものと見ております。

一方で、半導体のお客様は、先端技術に対する投資意欲は引き続き強いと見ておりまして、需要の濃淡がある中で、お客様の需要に迅速に対応してまいりたいと思っております。

そのような中で、23年の業績予想は、受注は前年と比較して272億円減の7,880億円、売上については721億円増の7,530億円、営業利益については4億円増の710億円を見込んでおります。営業利益率は9.4%、ROICについては10.4%、ROE 13.9%、そして1株当たりの配当金につきましては、前年から2円増の195億円を予想しております。

以下、為替レートは記載のとおりでございます。

3. FY23 業績予想 セグメント別



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q				1-4Q				
	FY22 a	FY23 計画 23/02/14 b	増減 b-a	増減率	FY22 c	FY23 計画 23/02/14 d	増減 d-c	増減率	
連結合計	受注高	3,994	4,055	+60	+1.5%	8,152	7,880	-272	-3.3%
	売上収益	3,124	3,835	+710	+22.8%	6,808	7,530	+721	+10.6%
	営業利益	271	372	+100	+36.8%	705	710	+4	+0.6%
	営業利益率	8.7%	9.7%	+1.0pts		10.4%	9.4%	-1.0pts	
建築・産業	受注高	1,034	1,050	+15	+1.5%	2,064	2,200	+135	+6.5%
	売上収益	906	970	+63	+7.0%	1,951	2,060	+108	+5.6%
	営業利益	50	55	+4	+8.8%	119	118	-1	-1.3%
	営業利益率	5.6%	5.7%	+0.1pts		6.1%	5.7%	-0.4pts	
エネルギー	受注高	592	830	+237	+40.2%	1,480	1,500	+19	+1.3%
	売上収益	640	730	+89	+13.9%	1,436	1,550	+113	+7.9%
	営業利益	41	33	-8	-20.7%	165	115	-50	-30.7%
	営業利益率	6.5%	4.5%	-2.0pts		11.6%	7.4%	-4.2pts	
インフラ	受注高	251	240	-11	-4.7%	519	490	-29	-5.7%
	売上収益	244	330	+85	+34.8%	446	500	+53	+12.0%
	営業利益	35	43	+7	+22.0%	34	30	-4	-13.8%
	営業利益率	14.4%	13.0%	-1.4pts		7.8%	6.0%	-1.8pts	
環境	受注高	462	480	+17	+3.8%	1,058	900	-158	-14.9%
	売上収益	364	325	-39	-10.9%	737	710	-27	-3.7%
	営業利益	9	20	+10	+110.4%	36	50	+13	+36.3%
	営業利益率	2.6%	6.2%	+3.6pts		5.0%	7.0%	+2.0pts	
精密・電子	受注高	1,646	1,450	-196	-11.9%	3,015	2,780	-235	-7.8%
	売上収益	960	1,475	+514	+53.6%	2,222	2,700	+477	+21.5%
	営業利益	139	225	+85	+61.6%	361	405	+43	+11.9%
	営業利益率	14.5%	15.3%	+0.8pts		16.3%	15.0%	-1.3pts	
その他、調整	受注高	7	5	-2	-32.0%	13	10	-3	-27.0%
	売上収益	6	5	-1	-28.5%	14	10	-4	-32.4%
	営業利益	-4	-4	+0	-	-13	-8	+5	
	営業利益率	-61.9%	-80.0%	-18.1pts		-89.2%	-80.0%	+9.2pts	

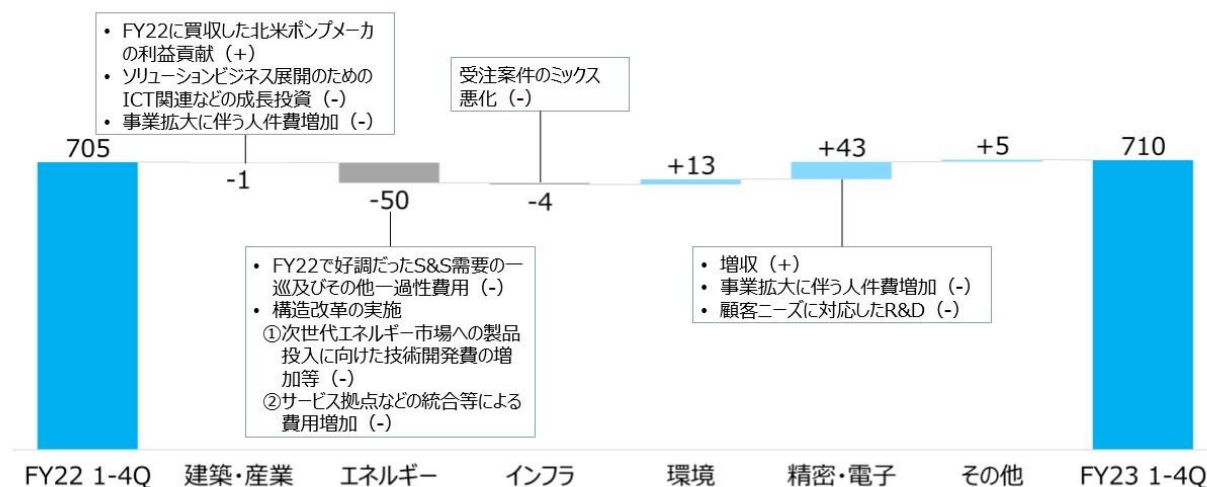
16 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

次に、16 ページをご覧ください。セグメントごとの業績予想を示しております。

昨年8月にセグメント変更の発表をさせていただいたのですが、23年から当社は対面市場別組織へ移行いたしました。

風水力を3つのセグメントに再編いたしまして、23年からは5つの事業セグメントでの業績説明をさせていただきます。また、前年比較として新セグメントでの22年度概算実績値を記載しておりますので、そちらと比較しながらご覧いただければと思います。

精密・電子事業における増収やFY22からの継続的な収益性改善を見込む。一方で、対面市場別戦略の実現に向けた各事業での先行的な成長投資に加え、グローバル全体の競争力強化を図るための基盤投資などを積極的に実行していく



次に、17 ページになります。23 年の営業利益 710 億円について、前年の 705 億円からの利益増減要因をご説明させていただきます。

今期は精密・電子事業の売上増加によって利益貢献が大きく、その他の事業でも、これまでの収益性改善施策は継続してまいります。

一方で、対面市場ごとに戦略を実行していくために、先行的な成長投資に加えて、グローバル全体での競争力強化につながる基盤投資なども実行してまいりたいと思っております。

その中で、特に今期は、旧カスタムポンプとコンプレッサ・タービン事業が統合したエネルギー事業で、50 億円の減益を見込んでおります。

その理由といたしましては、前期好調だったサービス&サポートの需要が一巡すること、そして、その他の一過性の費用の発生があります。また、構造改革の一環として、次世代エネルギー市場への製品投入を加速させるための製品・技術開発費や、サービス拠点などの統廃合によるコストを見込んでいるためでございます。

その他の事業における主な増減要因につきましてもスライドに記載しておりますので、ご覧ください。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
2. FY22 1-4Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
- 4. 株主還元**
5. 補足資料

4. 株主還元 株主還元の見通し

配当方針	■ 連結配当性向35%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針
FY22配当	■ 期末配当金を85円から108円に見直し、年間配当金を170円から193円に増配予定(前期比+30円)
FY23配当	■ 年間配当金は195円予想(前期比+2円)



次に、19 ページになります。最後に、株主還元の見通しについてご説明させていただきます。

連結配当性向 35%以上を目標としておりまして、22 年度の期末配当金を 85 円から 23 円増の 108 円に見直して、1 株当たりの年間配当金は 193 円を予定しております。これは、前年比では 30 円増となる見込みでございまして、連結配当性向も 35.2%となる見込みでございまして。

また、23 年度につきましては 195 円を計画いたしております。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
2. FY22 1-4Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 株主還元
- 5. 補足資料**

20 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料 受注高

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	旧セグメント (～FY22)								新セグメント				
	FY21				FY22				FY22		FY23		
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1-2Q	1-4Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/02/14	
連結合計	1,594	3,449	5,768	7,714	1,770	3,994	5,945	8,152	連結合計	3,994	8,152	4,055	7,880
風水力	789	1,654	2,585	3,548	911	1,878	2,866	4,064	建築・産業	1,034	2,064	1,050	2,200
ポンプ	488	963	1,498	1,977	578	1,156	1,726	2,274	エネルギー	592	1,480	830	1,500
CT	175	404	676	1,047	193	412	652	1,110	インフラ	251	519	240	490
冷熱	95	221	317	402	105	246	382	485	環境	462	1,058	480	900
その他	30	64	93	121	34	62	104	193	精密・電子	1,646	3,015	1,450	2,780
環境プラント	285	616	1,196	1,294	163	462	768	1,058	コンポーネント	631	1,162	500	1,000
精密・電子	513	1,168	1,972	2,854	689	1,646	2,299	3,015	CMP	977	1,792	900	1,700
コンポーネント	203	445	738	1,017	312	631	920	1,162	その他	37	60	50	80
CMP	280	680	1,182	1,767	357	977	1,330	1,792	その他	7	13	5	10
その他	30	42	52	69	20	37	48	60					
その他	5	9	13	17	4	7	10	13					

21 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料
売上収益



旧セグメント (～FY22)

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY21				FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	1,352	2,741	4,199	6,032	1,528	3,124	4,800	6,808
風水力	819	1,628	2,378	3,369	876	1,792	2,702	3,833
ポンプ	524	962	1,370	1,915	516	974	1,472	2,090
CT	166	405	622	912	224	506	770	1,117
冷熱	86	190	284	407	101	247	365	486
その他	41	71	100	135	34	63	93	139
環境プラント	194	313	500	718	216	364	522	737
精密・電子	334	790	1,308	1,927	431	960	1,564	2,222
コンポーネント	184	375	572	824	219	458	731	1,014
CMP	138	388	691	1,036	195	470	790	1,157
その他	11	26	44	66	16	30	42	50
その他	4	8	12	16	3	6	10	14

新セグメント

	FY22		FY23	
	1-2Q	1-4Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/02/14
連結合計	3,124	6,808	3,835	7,530
建築・産業	906	1,951	970	2,060
エネルギー	640	1,436	730	1,550
インフラ	244	446	330	500
環境	364	737	325	710
精密・電子	960	2,222	1,475	2,700
コンポーネント	458	1,014	550	1,050
CMP	470	1,157	900	1,600
その他	30	50	25	50
その他	6	14	5	10

22 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料
営業利益



旧セグメント (～FY22)

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY21				FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	122	246	370	613	141	271	426	705
風水力	79	132	150	247	79	127	176	320
ポンプ	76	100	105	141	65	84	118	160
CT	-6	17	31	88	4	21	50	132
冷熱	3	8	9	16	2	11	10	16
その他	7	5	3	1	6	9	-2	10
環境プラント	26	28	41	56	19	9	4	36
精密・電子	20	89	180	280	47	139	255	361
その他、調整	-3	-2	-1	29	-4	-4	-10	-13

新セグメント

	FY22		FY23	
	1-2Q	1-4Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/02/14
連結合計	271	705	372	710
建築・産業	50	119	55	118
エネルギー	41	165	33	115
インフラ	35	34	43	30
環境	9	36	20	50
精密・電子	139	361	225	405
その他	-4	-13	-4	-8

23 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料
受注残高



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY21				FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	4,984	5,461	6,337	6,515	6,895	7,749	8,132	8,181
風水力	1,966	2,032	2,222	2,243	2,387	2,581	2,744	2,697
ポンプ	891	943	1,070	1,014	1,127	1,280	1,402	1,301
CT	850	834	894	1,012	1,031	1,074	1,089	1,120
冷熱	142	168	171	137	149	148	162	142
その他	81	85	85	78	78	77	90	132
環境プラント	2,362	2,574	2,969	2,852	2,798	2,960	3,104	3,174
精密・電子	654	853	1,144	1,417	1,706	2,205	2,281	2,308
その他	0	0	1	1	2	2	1	0

新セグメント

	FY22		FY23	
	1-2Q	1-4Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/02/14
連結合計	7,749	8,181	8,401	8,531
建築・産業		639	719	779
エネルギー		1,475	1,575	1,425
インフラ		583	493	573
環境	2,960	3,174	3,329	3,364
精密・電子	2,205	2,308	2,283	2,388
その他	2	0	0	0

24 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料
地域別売上収益



(単位：億円)	FY21				FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
風水力	819	1,628	2,378	3,369	876	1,792	2,702	3,833
日本	416	671	932	1,266	385	674	932	1,322
アジア（日本除く）	231	495	803	1,164	221	513	811	1,131
北米	54	140	192	262	64	131	234	343
欧州	53	146	187	262	81	190	302	401
中東	33	97	129	214	62	138	211	343
その他	30	78	132	199	60	142	210	291
環境プラント	194	313	500	718	216	364	522	737
日本	191	304	469	673	211	343	499	701
アジア（日本除く）	2	9	30	45	4	20	23	35
精密・電子	334	790	1,308	1,927	431	960	1,564	2,222
日本	91	236	378	518	105	213	343	499
アジア（日本除く）	184	431	737	1,121	228	548	905	1,307
北米	40	81	122	180	51	111	180	233
欧州	13	35	60	96	43	82	128	167
その他	3	5	9	11	2	4	6	15

25 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料 貸借対照表



(単位：億円)	FY21 4Q a	FY22 4Q b	増減 b-a
資産合計	7,197	8,280	+1,083
流動資産	4,999	5,806	+807
現金及び現金同等物	1,364	1,161	-203
営業債権	2,184	2,530	+345
棚卸資産	1,213	1,813	+599
その他流動資産	236	302	+65
非流動資産	2,198	2,473	+275
負債合計	3,980	4,583	+602
営業債務	1,487	1,746	+258
有利子負債	1,120	1,193	+72
その他負債	1,372	1,643	+270
資本合計	3,216	3,697	+480
親会社所有者帰属持分	3,123	3,599	+476
その他資本	93	97	+4
親会社所有者帰属持分比率	43.4%	43.5%	+0.1pts
D/Eレシオ	0.36	0.33	-0.03

26 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料 キャッシュ・フロー



(単位：億円)	1-4Q				
	FY21 a	FY22 b	増減 b-a	FY23 計画 23/02/14 c	増減 c-b
発表日(年/月/日)					
営業活動CF	728	370	-357	500	+129
投資活動CF	-313	-383	-69	-570	-186
フリーCF	414	-12	-427	-70	-57
財務活動CF	-294	-237	+57	200	+437

27 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

5. 補足資料

資本的支出、減価償却費、研究開発費



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q		
	FY21 a	FY22 b	増減 b-a
資本的支出	227	275	+48
風水力	99	109	+10
環境プラント	7	20	+12
精密・電子	56	63	+7
その他、調整	64	82	+18
減価償却費	214	240	+26
風水力	109	119	+10
環境プラント	8	8	+0
精密・電子	69	73	+4
その他、調整	27	38	+11
研究開発費	135	152	+16
風水力	62	74	+11
環境プラント	9	11	+2
精密・電子	63	66	+2

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q	
	FY23 計画 23/02/14 c	増減 c-b
資本的支出	560	+284
建築・産業	90	
エネルギー	80	
インフラ	20	
環境	30	+9
精密・電子	260	+196
その他、調整	80	-2
減価償却費	265	+24
建築・産業	60	
エネルギー	40	
インフラ	10	
環境	10	+1
精密・電子	80	+6
その他、調整	65	+26
研究開発費	210	+57
建築・産業	50	
エネルギー	30	
インフラ	10	
環境	10	-1
精密・電子	110	+43

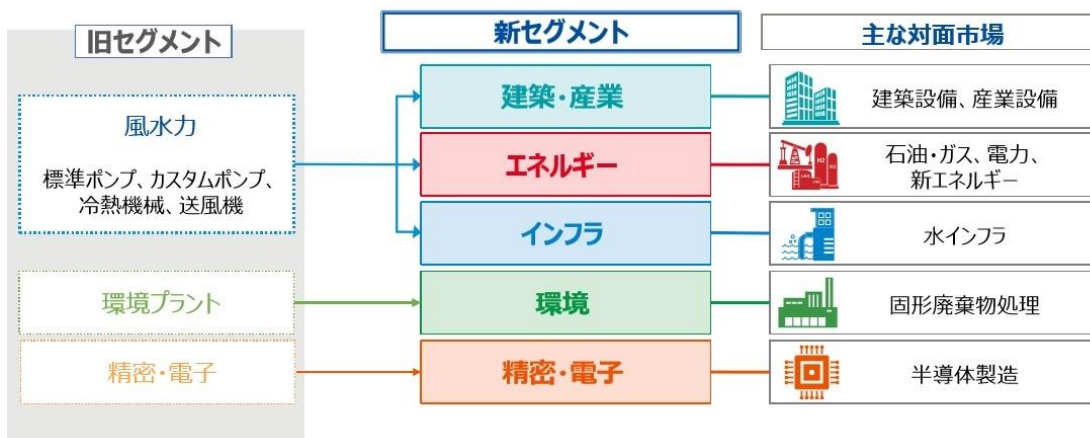
28 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5. 補足資料

事業セグメントの変更



2023年1月1日より、製品軸セグメントから対面市場軸セグメントへ事業セグメントを変更



29 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。